

平成28年度 柏崎市刈羽郡総合教育研究部 活動報告

部長 高橋 一也

1 研究活動の方針

- (1) 部員一人一人の授業力の向上を図り、日々の授業・活動等の実践に生かすことができる研修の機会を設ける。
- (2) これまでの実績をもとに、柏崎市立教育センターと連携した研修講座へ積極的に参加する。

2 実施事項

(1) 研修事業

① 柏崎市立教育センター研修講座

- ・ 8月2日…「柏崎学」～文化財・文化施設めぐり～
- ・ 8月3日…「谷根川溪流ウォーク」
- ・ 8月11日…「星空観察会」

現地を見たり、説明を聞いたりする等、具体的な内容は日々の授業に直接結びつくものであり、とても有意義な研修となった。また、「柏崎学」は、参加者が実際に見聞きし考える研修内容であり、普段の授業づくりに生かせる研修となった。

② 総合学習発表会への参加〔10月4日(火)会場：文化会館アルフォーレ〕

- ・ 柏崎小学校5年生の総合学習発表会

他校の発表を実際に見ることで、自校の総合的な時間への取組を振り返り、見直す良い機会となった。

堂々と熱演し発表する児童の姿から、発表に向けての取組や思いが伝わってくる発表会であった。

③ 授業研究会への参加〔11月8日(火)会場：北条中学校〕

◇：県中教研指定「総合的な学習の時間」プレ授業への参加

《協議題》テーマ：生まれ育った地域の『歴史、文化』『人』『自然』の発展・継承
～ ファシリテーションによる練り上げ ～

グループ協議では、公開授業と公開授業における授業構想についての意見交換（ファシリテーション）が活発に行われた。

(2) 師範授業実践と情報交換会の開催〔1月25日(水)会場：新道小学校〕

指導者：長岡市立太田小学校 教頭 山之内 知行 様

《協議題》「総合的な学習の時間のねらいを生かした探究的な『教科の授業づくり』」

〔 師範授業公開 〕

総合的な学習の時間のねらいや培われた力を教科の指導の中でどのように生かしていくかを実際の国語の授業をして考え、深めることができた。教師自身が総合的な学習の時間のねらい等を意識して授業に臨むことが重要であることを再認識した。

〔 協議会・情報交換会 〕

① 師範授業に関わる協議・情報交換

3グループに分かれ、「子どもの姿から、効果的であった手立て等」「私の私案（提案）」という2点に絞ってグループで協議した後全体で深めた。

② 演習（指導案作成）

指導案作成の際に『総合』のねらいを重視して教科の授業を創る」プロセスについて学んだ。



3 成果と課題

- 実施した研修は、部員一人一人の日々の授業や活動等に生かすことができる内容が多く、部員の授業力と資質の向上につながった。
- 当柏崎市刈羽郡学校教育研究会では、次年度から生活科と統合して活動することになる。従来各研究部の活動を大切にしながらも、義務教育9年間の中で「生活科と総合的な学習の時間」の関連、「総合的な学習の時間を小学校と中学校」として見た時の小中の関わりや関連等、研究・研修の視点がいくつか見えてくる。それらの視点と役員並びに部員の声を生かした研究部の活動としていく必要がある。